

報告事項 シ

企画展「ヴェネツィア絵画のきらめき」の開催について

企画展「ヴェネツィア絵画のきらめき」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成19年10月12日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

企画展「ヴェネツィア絵画のきらめき」の開催について

■ 会 期	平成 19 年 11 月 3 日（土）～12 月 9 日（日）〈休館日なし〉
■ 会 場	鳥取県立博物館 2 階 第 1・2・3 特別展示室
■ 主 催	鳥取県立博物館
■ 後 援	イタリア大使館
■ 協 力	アリタリア航空、ヤマトロジスティクス株式会社
■ 協 賛	中国電力、鳥取銀行
■ 入館料	一般当日 1,200 円／一般前売・団体 1,000 円

1 概 要

この秋、県立博物館が開館 35 周年を迎えることを記念して、イタリア・ルネサンスの絵画展を開催します。今回特集する北イタリアの都市ヴェネツィアは、独立した共和国として 1100 年間の歴史を誇るとともに、特に油彩画が盛んな芸術の都として美術史に名を残した「芸術の都」です。本展覧会では、16 世紀から 18 世紀まで約 300 年間にわたるヴェネツィア絵画の歴史を、主にイタリア国内の美術館・個人コレクションから選んだ油彩画 71 点でたどります。また、本展は県内初の本格的なイタリア絵画展となります。

2 展示構成

ヴェネツィア絵画の展開を当時の社会とのつながりの中でご理解いただけるよう、作品の内容別に 3 章に分けてご紹介いたします。

I 宗教、神話、寓意

ヴェネツィアは、福音書記者・聖マルコを都市の守護聖人に戴き、信仰の力を原動力として発展した国家です。ヴェネツィア人の精神的基盤となったキリスト教や、地中海の神話に関する絵画を展示します。



（左）ルネサンスの巨匠、ティツィアーノ初期の傑作。

ティツィアーノ・ヴェチェリオ
《洗礼者聖ヨハネの首をもつサロメ》
1515 年

（右）ヴェネツィア絵画独特の繊細な自然描写が見られる祭壇画。

ポリドーロ・ダ・ランチャーノ
《聖会話》1540 年頃

II 統領のヴェネツィア

共和国の国家元首は統領と呼ばれ、国のシンボルとして威厳のある姿に描かれました。歴史史料としても重要な価値を有する、豪華な肖像画を展示します。

（右）縦 271 cm、横 182 cm の巨大な肖像画。名家コルナーロ家の大広間に飾られていたと推測されます。

セバスティアアーノ・リッチ《統領ジョヴァンニ・コルナーロ 1 世の肖像》1775 年



Ⅲ 都市の相貌

早くから市民社会が発達していたヴェネツィア。都市生活の機微を描いた風俗画、肖像画、都市景観画を展示します。



(左) 市民の日常を活写した、風俗画家ロンギのチャーミングな小品。

ピエトロ・ロンギ《リドット(賭博場)》
1757-1760年?

(右) 街そのものが主役となる都市景観画。正確かつ精密な絵画は、18世紀ヴェネツィア絵画を代表するジャンルとして人気を博しました。ベルナルド・ペロット《サン・マルコ広場とブチントーロ》1747年頃

3 関連事業【(1) から (5) まで、入場料は無料です】

- (1) ミニコンサート「イタリアの響き」ロドルフォ・ボヌッチ他 11月10日(土)
- (2) 記念講演会「ヴェネツィア絵画のきらめき」11月11日(日) 岡田温司氏(京都大学大学院教授)
- (3) 記念講演会「水の都ヴェネツィアに魅了された人々 —ターナー、ラスキン、そしてモネー」11月18日(日) 木島俊介氏(本展監修者、共立女子大教授)
- (4) 映画上映会「ヴェニス商人」11月23日(金・祝)
- (5) 学芸員講座「水都ヴェネツィアの社会と絵画」12月2日(土) 竹氏倫子(当館学芸員)
- (6) ギャラリートーク 11月4日(日)、25日(日) ※入館料が必要です

4 全国巡回について

今回の展覧会は次の5つの美術館(博物館)が共同企画し、それらを巡回するものです。

	会場	会期
1	豊田市美術館	2007. 3/27 ~ 5/20
2	静岡県立美術館	2007. 5/26 ~ 7/8
3	大分市美術館	2007. 7/14 ~ 8/27
4	東急 Bunkamura ザ・ミュージアム(東京)	2007. 9/2 ~ 10/25
5	鳥取県立博物館	2007. 11/3 ~ 12/9

5 広告事業について

本展覧会については、県内の2企業から協賛していただき、それぞれ広告料をいただいています。

〔中国電力〕 チラシ：広告、ポスター・看板：協賛企業として企業名表示

〔鳥取銀行〕 チラシ・ポスター・看板：協賛企業として企業名表示